



名古屋市立志賀中学校
2023. 11. 20 (月)

第4回進路希望調査があります

本日、第4回進路希望調査が配られました。9月に行った第2回進路希望調査と同様、愛知県内の中学3年生全員を対象にした一斉調査です。必ず提出期限(11月27日(月))を守ってください。

期末テストの結果に、どのくらいの手応えがあったか、1学期の成績は維持できそうか、上がりそうなのか、下がってしまいそうなのか、実力はついてきているのか、おうちの方の考えや、担任の先生からのアドバイス、自分の気持ちを、よく整理してみましょう。

~受験校を選択するにあたり~

① 受験する学校は、進学するかもしれない学校

中学校の先は義務教育ではありません。ゆえに、進学するには入学試験を受けなければなりません。入学後その学校についていける学力があるかどうかを判断されます。ここで忘れてはいけないのは、受験する学校は進学するかもしれない学校ということです。最終的にそこへ通うことになるかもしれません。よく知らないまま受験校を決めることのないようにしましょう。都合さえ合えば、今からでも個別で見学させていただいたり、説明していただいたりする学校もあります。担任の先生との進路相談や家族との話の中で受験の候補にあがった学校は、自分でしっかり調べて、自分の夢や希望、やりたいことに何か関連するものを見つける努力をしましょう。

② 第1希望が絶対ではありません

進路説明会でも話をしましたが、無理矢理の受験や評判に惑わされるのは危険です。どの学校にも毎日通ってがんばっている人がいます。一生懸命指導してくれる先生もいます。自分の意志を貫くことも大切ですが、受け入れる高校側にもこれまで培ってきた実績があり、生徒を成長させたいという思いがあります。高校側が求めるレベルをクリアできなければ、どうしても進路変更が必要になってきます。さまざまな状況の中で、進学先が第1希望以外の学校になることがあります。そこで自分にとって人生の道標となる先生や仲間と巡り合えて、充実した学校生活を送っている人はたくさんいます。

③ 行ったところで「何をするか」が重要

「これになるにはここでなければならない」という学校は、上級学校にはありません。夢や希望に最短距離で近づくのが、必ずしも良いとは限りません。様々なところで話題にあげていますが、「どこに行くのか」ではなく「そこで何をするか」です。熱意を継続して努力を続けていけば、別の場所で、次の3年後の進路で、希望が叶っているかもしれません。